

FACE



【特集】産婦人科

チーム医療で 最善の結果を目指す



産婦人科では、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなど悪性腫瘍に対する治療を中心にしています。子宮筋腫や子宮内膜症などの良性疾患に対する治療、骨盤臓器脱の治療、月経困難症や更年期症候群に対する薬物療法なども行っています。当院では産科は行っていません。

併存症を抱えた患者さんが増加しており、各診療科と連携しながら診療を行っています。

悪性腫瘍の治療

手術では、腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術などの患者さんにとって負担が少ない低侵襲手術から、消化器外科と合同で多臓器合併切除を伴う拡大手術まで行っています。また、放射線治療や薬物療法を組み合わせた治療も行っています。再発症例では、手術や薬物療法、放射線治療を行います。症状を和らげる緩和治療にも取り組んでいます。

良性腫瘍の治療

子宮内膜症、子宮筋腫などには腹腔鏡下手術やロボット支援下手術を積極的に取り入れています。2024年の良性疾患に対する低侵襲手術の割合は75%まで上昇してきています。子宮内膜症にはホルモン治療なども行っています。

骨盤臓器脱に対する ロボット支援下仙骨腔固定術

高齢化が進むにつれて、子宮脱や膀胱瘤などの骨盤臓器脱に悩む患者さんが増加しています。従来の治療に加え、再発率の少ないより低侵襲なロボット支援下仙骨腔固定術を2023年に導入し、行っています。

薬物療法と患者QOL

婦人科の進行がんでは、抗がん剤、分子標的薬、免疫治療薬を組み合わせた多剤併用療法を積極的に導入し、薬剤部、放射線治療科、緩和ケア科と連携しながら、がん患者さんの生存期間の延長とQOL向上を目指しています。患者さんに合った維持療法も取り入れ、再発予防に努めています。

遺伝性疾患に対する治療

遺伝子診療センターと合同でカンファレンスを行い、手術を行っています。

更年期症状・月経困難症・ HPVワクチン

更年期症状に対してはホルモン治療や漢方療法を、月経困難症に対してはホルモン治療を取り入れています。子宮頸がんワクチンの啓発や接種も行っています。

進行卵巣がんの治療

2024年、産婦人科では328件の手術を行いました。そのうち悪性腫瘍は60件、卵巣がんは18件でした。これまで進行卵巣がんにおいては、できるだけがんを摘出し、残ったがん細胞に対し、抗がん剤で治療する方法が主流でした。しかし最近では、肉眼的完全切除(目で見て腫瘍が全くない状況)を目指した手術を行い、そのうえで薬物療法を行うと再発が少なくなることがわかってきました。(卵巣癌・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン 2020年度)卵巣がんは腹腔内にばらまかれるように広がりやすいため、腸管などの多臓器合併切除が必要になる場合があります。そのような時は消化器外科と合同手術を行い、良好な成績をあげています。

また、卵巣がんに対する薬物療法は近年進歩しています。これまでは、どの患者さんに対しても同じ薬物を使用してきましたが、現在ではがんの遺伝子を調べて患者さんに合う分子標的薬を選択します。抗がん剤と個々の患者さんに有効な分子標的薬を併用し、患者さんに合った個別治療を行っています。治療後は再発予防のために維持療法を行います。



産婦人科 科長

高尾 由美



京都大学博士 (医学)
日本産科婦人科学会 専門医・指導医
日本婦人科腫瘍学会 専門医
京都府京都市出身
滋賀医科大学卒
2000～2006年、2021年～当院に勤務

医療の現場から見える景色と想い

私が好きな風景は、湖西の小野にある石釜古墳群から望む琵琶湖東岸と近江富士、そして当院産婦人科のある8階病棟から見える比良山系です。この格別の眺めに接すると滋賀県に勤務できてよかったと思います。比良山へは前回当院に勤務していた頃、家族でスキーに通いました。

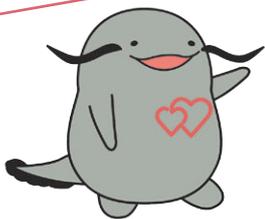
最近、ロボット支援下手術や悪性腫瘍の拡大手術に取り組んでいます。進行がんさまざまな薬物療法が認可され、いち早く導入しています。

チームで行う医療が中心となり、一方で働き方改革によるワークライフバランスを重視する時代にもなっています。患者さんとのコミュニケーション、そしてチーム内でのコミュニケーションが本当に重要な要素になっていると実感します。

進歩する医学が患者さんのお役にたてるよう、スタッフ一同、努力を継続したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

Information

病院統合のお知らせ



滋賀県立総合病院
イメージキャラクター「びわずん」

令和7年1月1日に滋賀県立総合病院と滋賀県立小児保健医療センターは統合し、新しい「滋賀県立総合病院」となりました。

総合病院が充実させてきた「がん診療」や、小児保健医療センターが小児専門病院として担ってきた「難治・慢性疾患の治療」はしっかりと継続し、これまで以上に診療科間、部署間の連携を深め、高いレベルの医療を実現します。

ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。

お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



笑顔で患者に寄り添いチームで取り組む姿勢を基本とし
子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる高度かつ専門的な医療の実現

 **滋賀県立総合病院**
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号

TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)

[診療受付時間] 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く

[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29～1/3)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

滋賀県立総合病院

病院HP



FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

発行日：2025年4月

バックナンバーも
ご覧いただけます

